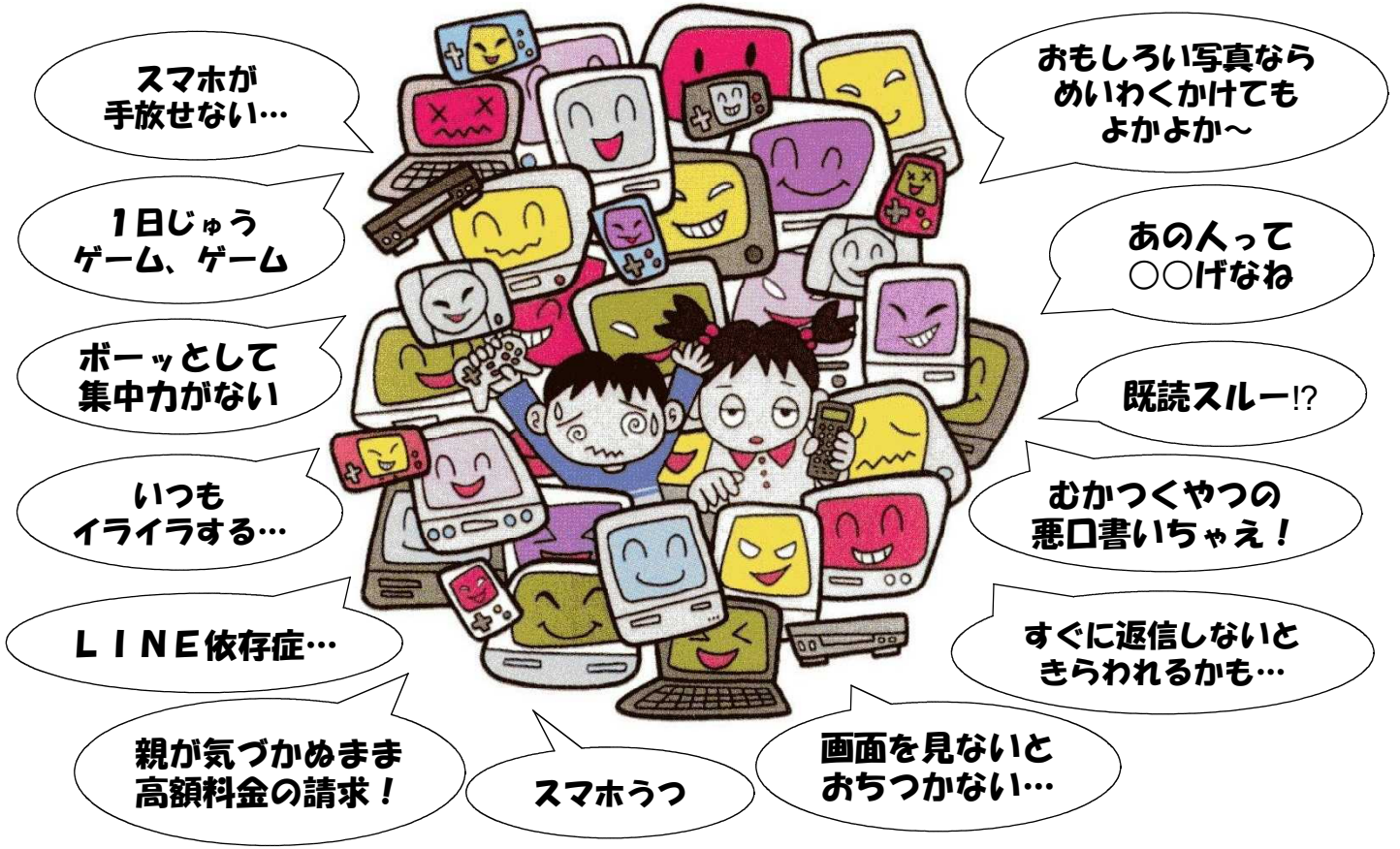


～八幡校区人権学習会～

子どもが危ない!

～メディア漬けが子どもを蝕む～



八幡の子どもたちは、だいじょうぶ?

- 日時 2月10日(月) 19:30～
- 会場 西公民館 2階 4号室
- 講師 九州大谷短期大学幼児教育学科 教授 原陽一郎 先生
- 内容 講話「子どもの生活とメディア」

《共催》八幡校区人権のまちづくり推進協議会（八幡よかところ会）
八幡小学校PTA、八女市人権・同和教育研究協議会

ご不明な点は、八幡小学校（22-4801）へお問い合わせください。

ウラへ →

昨年度に引き続き、原陽一郎先生のお話です。



原陽一郎先生のご紹介

九州大谷短期大学幼児教育学科教授。NPO法人子どもとメディア常務理事。西南学院大学文学部児童教育学科卒業。福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了。保育所保育士、学童保育指導員、障害児施設指導員を経て現職。専門分野、保育。子どもの健やかな育ちを保障するために、様々な方向から研究を試みておられます。

「もっと保護者が参加してほしいです。」 (昨年度の感想②より)

《昨年度の感想①》

ゲームやインターネットはよくないと分かっているけど、友だちとの付き合い上、持たせた方がよいのでは…と親としては迷い迷いの日々です。これらのパーツを本人がどう使うのか、いかに良きパートナーとして付き合っていけるよう導くか…学ぶべきことがまだまだあるな、と思います。

《昨年度の感想②》

親が「安心」したいがために子どもに持たせるケータイが、子どもの「安全」を脅かしている。このことに、世の大人(特に親たち)は気づかなければいけないと思いました。もっと保護者が参加してほしいです。まったく意識がない親たちが多いことが分かりました。



「うちの子にかぎって」

こんな子どもの目撃情報が…

【事例1】

絵本をもって、ひとさし指とおや指で絵を大きくしようとする赤ちゃん…

【事例2】

電車の中で、窓の外の景色には目もくれず、親が渡したスマホの画面を静かに見つめる幼いきょうだい…

【事例3】

「友だちにうける」ためには相手の気持ちはおかまいなし。写真や動画に時間とエネルギーを費やす中学生…



どなたでも参加できます。いっしょに学びましょう!

【事例4】

表だって言葉にはしないけど、ネットやラインの中で、友だちや先生への不満や悪口を書き続ける高校生…

【事例5】

本当かどうかよく確かめもせず、うわさ話や不確かな情報をおもしろ半分アップする若者たち…

もしかしたら、大人の中にも同じような姿が広がっているかも…

